

協議会ニュース

2024(令和6)年6月

(仮称)音別義務教育学校の学年の区切りは、1～9学年を3つの段階(ステージ)に分ける「4-3-2制」となります。

■学年の区切りは「4-3-2制」に決定

・義務教育学校は小中一貫の9年生の学校で、法令上は、1～6年生が前期課程、7～9年生が後期課程とされています。なお、学年の区切りについては学校毎に決めることができ、次のとおり、1～4年生の4年間、5～7年生の3年間、8～9年生の2年間の3つのステージ(段階)に分けること(4-3-2制)に決まりました。今後は、各ステージにおける「節目」を生かした教育活動を展開します。

課程	前期課程						後期課程		
学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
ステージ(段階)	ファーストステージ				セカンドステージ			サードステージ	

■新しい制服の検討の進め方が示されました

・制服検討委員会(事務局:音別中)を立ち上げ、両校の教職員、PTA、コミュニティスクール委員で構成される同委員会において、本年10月以降、書面審査などによる選考が行われる予定であることが示されました。

・「何年生から制服を着るのか」についても、制服検討委員会で検討していく予定であるとの説明がありました。委員からは、身体の成長と制服の買換え回数、音別らしいデザインなどについて意見がありました。

・ジャージについては、現行どおり私服のジャージとし、指定ジャージとはしない考えが示されました。

・今後も制服検討委員会が中心となって制服の検討を進める予定です。

次回協議会は、秋以降の開催を予定しておりますが、開催日程は未定です。

■音別地区義務教育学校開校準備協議会 第4回会議開催

2024(令和6)年1月30日午後6時30分より、音別町コミュニティセンター研修室1～3にて、4回目の会議が開催されました。

「校舎について」、「教育部会について」が議題となりました。

【(1)校舎について】

平面図を用いて基本設計(案)の概要が説明されました。令和7年度の増改修工事の着手に向けて調査・設計が進められていること、教室と廊下の間仕切り壁が大きく開くような形とする予定であること、既存棟、増築棟ともに、児童生徒用、職員用の全てのトイレを洋式便器とする予定であることなどが説明されました。(※下の写真は間仕切り壁のイメージ)



【(2)教育部会について】

開校準備協議会の部会として教育部会が組織され、音別小と音別中の教職員による会議が行われ、新しい学校の教育目標や教育課程の編成、開校までの学校間交流等に関して協議されてきたことについて報告がありました。

■音別地区義務教育学校開校準備協議会 第5回会議開催

2024(令和6)年6月4日午後6時30分より、音別町コミュニティセンター研修室1～3にて、第5回目の会議が開催されました。

新たに協議会の委員となった方の紹介の後、「教育部会について」、「制服・ジャージについて」が議題となりました。

【(1)教育部会について】

第4回会議を踏まえて行われた児童生徒・保護者を対象とした教育目標などに対するアンケートに寄せられた意見等の報告および小学校・中学校の連携や、学校間交流に関する報告があったほか、学年の区切りを「4-3-2」ステージ制に設定することへの協議が行われました。

【(2)制服・ジャージについて】

校内に制服検討委員会(事務局)を立ち上げ、本年10月以降、書面審査などによる選考が行われる予定であること、新しい制服の決定までの大まかなスケジュール、制服を導入する学年については制服検討委員会で議論されることなどが示されました。

